

令和7年度 浜松市教育研究会 保健体育部 研究構想

1 研究の構想

(1) 研究テーマ

自ら考え、ともに学び合い 分かる・できる・楽しいを実感する

体育科・保健体育科の学習

(2) 研究テーマについて

現行の学習指導要領では、一人一人の子供の持ち味である資質・能力を一層豊かに伸ばし、身に付けさせるべき資質・能力を育成するために学習評価が行われるべきと示されている。体育科・保健体育科の学習においては、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するために、運動やスポーツ、健康への興味や関心を高め、体育の見方・考え方の『する、みる、支える、知る』という視点を基に、学習過程を工夫し、充実を図ることが重要となる。

昨年度、新しく「自ら考え、ともに学び合い 分かる・できる・楽しいを実感する 体育科・保健体育科の学習」のテーマのもと、研究を進めてきた。昨年度は、自ら学び、課題解決をする中で、他者とのかかわりを通して、知識や技能、思考力・判断力・表現力を高めることを意識した活動を教師が意図的に単元の中で設定した。その結果、自力解決が難しかったり、一つの見方しかできていなかったりした児童生徒に多様な気づきが生まれ、運動やスポーツについての見方・考え方が広がる姿が見られた。また、授業の中でICT機器を用いることが教師だけではなく、児童生徒にも浸透していったことで、自分の課題を見付けたり、思考したことを表現したりする力の向上にもつなげることができた。

今年度は、さらに授業改善を充実させていくために、育てたい資質・能力と教師の役割を明確にし、小中学校の学びをつなぐ授業づくりの流れを継続させていく。児童生徒自身が学びの主演となり、体育の見方・考え方を学ぶとともに、自ら学び、課題解決をしていく中で、「選択」「決定」「調整」することを繰り返しながら学んでいく姿を目指したい。また、課題解決に向けて粘り強く取り組む中で、運動の楽しさや運動することのよさに目を向けさせていきたい。それらに気付かせるために、教師が単元構想や一時間の授業内容を工夫したり、活動環境を整え、個に応じた声掛けをしたりしていくことが必要である。また、これまで以上に協働的に学ぶ場面やICT機器の活用方法を精選し、その質を高める必要もある。さらに、自分の立てた目標に対してどのように学んだのか、振り返りの場を設定することにより、自分の学びの成果を確認し、次への目標をもたせることが大切である。児童生徒が学び方を自ら考え、仲間と学びを深めることで、運動することのよさが「分かる」、運動と様々な関わり方が「できる」、そして運動が「楽しい」と実感できる体育科・保健体育科の学習を小中学校が一体となって進めていき、児童生徒の豊かなスポーツライフの実現につなげていきたいと考える。

そこで、これらのことを踏まえ、令和7年度の研究テーマを、令和6年度のテーマを継続し「自ら考え、ともに学び合い 分かる・できる・楽しいを実感する 体育科・保健体育科の学習」とした。

(3) 研究テーマの「分かる・できる・楽しい」と「3つの資質・能力」や「体育の見方・考え方」との関わり

①「分かる」「できる」とは、「3つの資質・能力」のこととして捉えている。

○「知識・技能」…運動の行い方に関する知識や身近な生活における健康に関する知識を身に付けていくこと。また、技能の習得のみが学習の中心とならないよう、知識と技能の指導を関連付けて行っていくこと。技能の習得は、児童生徒にとって学習の目標（目指す姿）であり、課題を見付けたり解決のための工夫をしたりするなどの源であること。

○「思考力・判断力・表現力等」…学習の目標（目指す姿）の達成に向けて、自己の運動や健康の課題を見付け、その課題を解決するために他者との対話やICT機器等、教師から提示された活動を必要に応じて効果的に活用していくこと。

○「学びに向かう力・人間性等」…運動の楽しさや健康の大切さを実感し、進んで健康の保持増進や体力の向上等のために友達と考えを認め合うこと。また、学習課題に対して粘り強く取り組んだり、学びを調整して進んで取り組んだりしていくこと。

②「楽しい」とは体育の見方・考え方の「する・みる・支える・知る」を実感することとして捉えている。

○運動の特性に応じた楽しさに触れ、仲間と共に運動したり、自己やチームの目標を達成する喜びを味わったりすること。

○多様な見方・考え方から体育科・保健体育科の学習を楽しむこと。

豊かなスポーツライフの実現

小中合同研究テーマ

自ら考え、ともに学び合い 分かる・できる・楽しいを実感する 体育科・保健体育科の学習

小中9年間を見通した
協働的な課題解決学習

学習の目標(目指す姿)

体育の見方・考え方 「する・みる・支える・知る」を通して、
運動の「楽しさ」 運動の「よさ」 運動との「多様な関わり」を学ぶ



知識及び技能

- ・運動の行い方に関する知識や身近な生活における健康に関する知識を身に付ける。
- ・技能の習得は、児童生徒にとって学習の目標(目指す姿)であり、課題を見付けたり解決のための工夫をしたりする。

思考力、判断力、表現力等

- ・学習の目標(目指す姿)の達成に向けて、自己の運動や健康の課題を見付ける
- ・課題解決するために他者との対話やICT機器等、教師から提示された活動を必要に応じて効果的に活用する

学びに向かう力、人間性等

- ・運動の楽しさや健康の大切さを実感し、進んで健康の保持増進や体力の向上等のために友達と考えを認め合う
- ・学習課題に対して粘り強く取り組んだり、学びを調整して進んで取り組んだりしていく

教師の児童生徒観、指導観、単元観

- 運動の特性の把握
- 運動が苦手な児童生徒への支援
- ICT機器の活用

児童生徒の実態

- 運動経験や知識・技能の把握
- 新体力テスト等の結果をもとにした課題の把握

学習指導要領

- 教科の目標
- 各学年の目標
- 運動領域・保健領域の内容

運動する機会の二極化傾向 子供の体力の低水準
課題解決学習における課題(自力解決・他者との関わり等)

2 浜松市教育研究会研修会（市教研）日程

回	実施日	会場	研修内容
主任者会	4月14日（月） 15：00～16：30	細江中	○令和7年度の研究テーマについて ○研究計画について、組織作り
1	5月21日（水） 15：00～16：30	中部学園	○指導主事講話 ○小中別部会別グループ協議 ・各校の実践例を紹介 ・課題、問題点、解決策等 ・自校でできること
2	8月4日（月） 9：00～16：00	教育会館	○指導主事講話 ○実践発表（小・中学校） ※小学校は令和6年度市教研授業者（2・3・7・8部会）から選出する。 ※中学校は令和6年度市教研授業者（1・4・5・6部会）から選出する。 ○講演会 演題：未定 講師：順天堂大学 荻原 朋子 准教授 ○小中合同部会別授業検討会 ○小中別部会別グループ協議
3	10月29日（水） 原則14：00開始	部会会場校	○小中合同部会別授業研修会

3 第3回浜松市教育研究会研修会（市教研）に向けて

運動領域について、様々な領域で実践を行うことを通して、目指す子供像を実現できるようにしていく。また、保健領域で実践を行う部会も設定する。

授業部会	小学校（1・4・5・6部会）、中学校（2・3・7・8部会）																			
指導案作成	<p>○小学校部会支部長や中学校運営委員は、市教研の「部会責任者」を担う。</p> <p>○第2回市教研にて検討するため、その日程に合わせて指導案を作成し、必要な枚数分用意する。</p> <p>※指導案は各学校の形式とするが、児童の実態や研究の視点を踏まえた内容が入っているようにする。</p> <p>○指導案作成のための研修会を設定し、指導案検討会を行う。日程は、5月から7月くらいの中で、各部会参加者の都合の良い日を設定する。オンライン研修会でも可とする。出張文書雛形は後日送付する。</p> <p>※参加者…小学校は、各部会支部長・副支部長・授業者・運営委員・小学校代表顧問校長とする。中学校は、授業者・運営委員・中学校代表顧問とする。</p>																			
授業校授業者	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部会</th> <th>授業校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1部会</td> <td>双葉小</td> </tr> <tr> <td>2部会</td> <td>富塚中</td> </tr> <tr> <td>3部会</td> <td>新津中</td> </tr> <tr> <td>4部会</td> <td>与進小</td> </tr> <tr> <td>5部会</td> <td>浜名小</td> </tr> <tr> <td>6部会</td> <td>村櫛小</td> </tr> <tr> <td>7部会</td> <td>三方原中</td> </tr> <tr> <td>8部会</td> <td>光が丘中</td> </tr> </tbody> </table>	部会	授業校	1部会	双葉小	2部会	富塚中	3部会	新津中	4部会	与進小	5部会	浜名小	6部会	村櫛小	7部会	三方原中	8部会	光が丘中	<p>○原則として、授業者は体育主任が行う。</p> <p>※学校事情によりやむを得ない場合は、校内の他の教員が行ってもよい。</p> <p>○授業者決定後、代表者が小中担当者へ報告する。</p>
部会	授業校																			
1部会	双葉小																			
2部会	富塚中																			
3部会	新津中																			
4部会	与進小																			
5部会	浜名小																			
6部会	村櫛小																			
7部会	三方原中																			
8部会	光が丘中																			
指導講評	<p>○各部会の代表顧問校長が協議し、決定する。</p> <p>※小学校部会支部長や中学校運営委員から代表顧問校長に決めてもらうよう依頼する。</p>																			
実践記録	<p>○実践記録の形式に沿ってまとめ、授業終了後に、代表者が小中担当者へ提出する。※詳細については、後日連絡。</p>																			

4 実践発表

- 市教研：8月4日（月）
- 県教研（小学校実践発表者）：10月25日（土）